

## §1 現在形

### 課題文

春になると、わが家の庭にたくさんのバラが咲きます。

### 文法研究

#### 📖 「バラが咲きます」の時制は？

序論でも述べたように、日本人の多くは英訳する際に、何も考えていないとすぐに現在形を使う癖がある。だから、この問題の「バラが咲きます」の部分も、何も抵抗なく現在形で書く人が多いだろうが、それはマグレ当たりすぎない。なぜ、現在形で書くのが正しいのか説明できなければ、違う文を英訳する際にきつと間違った現在形を使うことになるであろう。そこで、まずは**現在形**の意味するものから学習しよう。

#### 📖 〈現在形〉は現在のことを表すのか？

現在形と聞くと、読んで字の如く「現在のことを表す」と思っている学習者がほとんどであろうが、究極的にはこれは間違いで、「**現在形は原則的には半永久的なことを表す**」のである。よって、私見では現在形という文法用語を廃止して、「半永久形」と改名したいくらいである。これから英作文を学習していくうちに気づかされることになるが、皮肉なことに、**文法用語のせい**でその内容を勘違いしていることが多いのだ。

#### 📖 My father writes novels. をどう訳す？

現在形についてだが、次の文はどう訳せばよいか考えていただきたい。

**My father writes novels.**

次のような訳が最初に思いついた人が多いと思う。

「父は小説を書く」

もちろん間違いではないが、日常生活での日本語会話としては、この日本語は不自然ではないか。

writeに3人称単数現在を表す-sが付いているので、この文は現在形で書かれているとわかる。**現在形は半永久的なことを表す**ので、この文を直訳すれば、

「父は半永久的に小説を書く」

である。「半永久的に小説を書く」とは、すなわち「父の職業が小説を書くこと」

ということであるから、きれいな日本語は次のようになるであろう。

「父は小説家 (*or* 物書き) である」

人間が半永久的にやることと言えば、ふつうは職業と考えられる。

#### 📖 What do you do? の意味は？

英語学習の初期に次の文を教わった人は多いはずだ。

**What do you do?**

この質問に対する答えは、**I'm a student.** とか **I'm a teacher.** というように職業を答えるのだが、これについて疑問に思った人はいないだろうか。**What do you do?** がどうして職業を聞くことになるのか、という点である。それはこの文が現在形 (= 半永久形) だからである。直訳は「**あなたは半永久的に何をしますか**」ということであり、「半永久的にすること = 職業」と解釈できるから、「**ご職業は何ですか**」となる。ちなみに I'm a student. と答えた場合、永久に学生をやっているわけでもないのでは、と思った方もいるだろうが、学生と言えども1日や1週間でやめるものではなく、しばらく続けているものだから、一種の職業と言ってよい。「永久形」と言わず「半永久形」と説明したのは、究極的にはこの例のように、「永久」と命名すると言いすぎる面もあるからである。と同時に、現在形で表される事柄は「**安定的なこと**」とも言える。職業はそうすぐに変更するものではない。「学生」という身分も同じで、簡単に退学するわけでもない。

#### 📖 現在形は〈安定〉している

次の例文はどうだろうか。

**Sally goes to church on Sundays.**

この文も文字通り訳せば

「サリーは毎週日曜日に教会へ行く」

となるだろうが、現在形で書かれているので、直訳は

「**サリーは半永久的に日曜日には教会へ行く**」

となる。「半永久的に教会へ行く」とは、サリーがキリスト教徒であることを意味する。よって、この文は思い切って次のように意識してもいい。

「**サリーはクリスチャンである**」

ところで、キリスト教徒が仏教徒に改宗することは普通はあまり考えられないだろう。仏教徒の中でも、浄土宗の人が日蓮宗に改宗することもまずあり得ない。キリスト教徒として育てば、一生キリスト教徒であるのが通常である。